

リアサスペンション

リアサスペンションには、プロリンクサスペンションを採用し、レシオの最適化によりプログレッシブ（漸増型）な特性で高い路面追従性を発揮するとともに、足回りの省スペース化をはかりました。

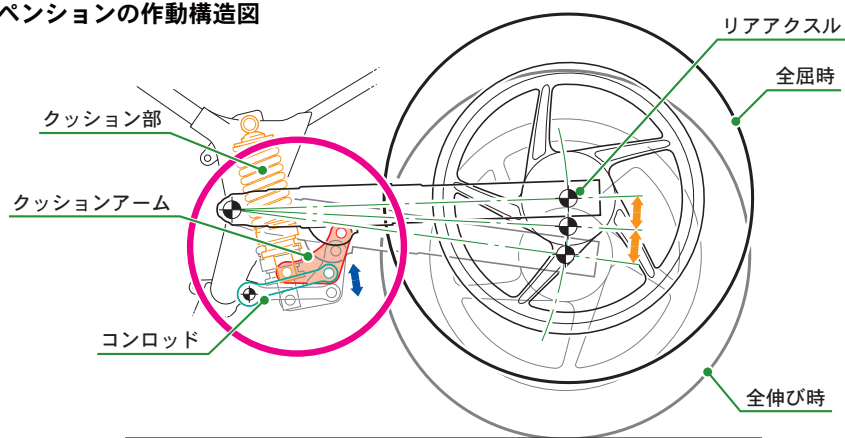
プロリンクサスペンションは、ストロークの小さい時には減衰力特性の柔らかめな領域で作動させソフトな乗り心地とし、大きく作動したときには減衰力特性の高めの領域で大きなストロークをしっかりと減衰させることで、より安定した走行を可能としています。

このような減衰特性と、重心に近い位置にサスペンションをコンパクトに配置することによって操縦安定性を向上させました。また、ライダーの好みや、タンデム走行などに応じて調整可能な５段階のプリロードアジャスターを採用しました。

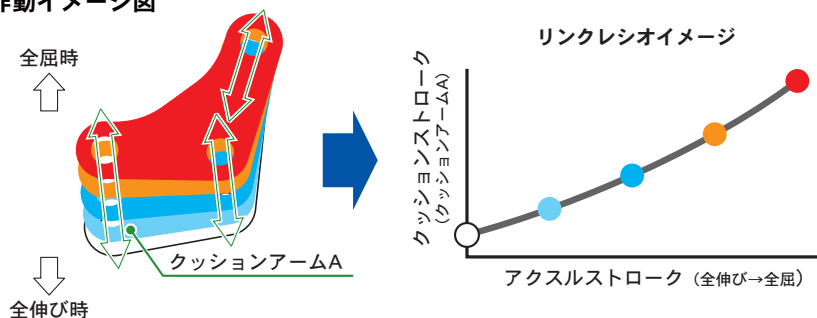
剛性と靱性を兼ね備えたスイングアームは 60×30mm の角断面スチールパイプとしました。

チェーンケースを兼ねた樹脂製のインナーフェンダーは、高いデザイン性を備えながら、車体やリアクッション、ABS モジュールへの泥はねやチッピングを軽減しました。

■プロリンクサスペンションの作動構造図



■クッションアーム作動イメージ図



プロリンクサスペンションの作動と効果

プロリンク式リアサスペンションの作動は、リアアクスル部のストローク量に比較してクッションストローク量の変化割合が大きくなる特長があります。つまりクッションアームとコンロッドの作動により、リアアクスル部の動きが少ない範囲ではクッションストローク量が少なくなりますが、リアアクスル部の動きが大きい範囲になるにつれてクッションストローク量が大きくなるプログレッシブ（漸増減）な特性が得られる機構となっています。